

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	CHU1009101	授業科目名	日本文学概論			開講曜日・講時	月曜 1 限			
担当教員名	西野 厚志		授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix				
サブタイトル										
「古典文学／近現代文学」と「ことば／映画・絵画・漫画」の交差点										
授業の目的・到達目標										
<p>・文学史やメディア史についての総体的な知識を習得する事によって歴史感覚を身に付け、言論の発信に伴う責任と自由について思考を深める。</p> <p>・芸術表現の内容だけでなく、文学と他のメディア(映画・絵画・漫画・演劇など)との比較から、各メディア固有の表現形式に即した読解力と批判的な思考力の習得を到達目標とする。</p>										
授業の概要										
<p>全体を3クールにわけて、日本文学を様々な角度から学ぶ。</p> <p>①文学史のなかの京都(2～5回) 各時代の代表的な日本文学作品にふれながら、文学史の総体的な知識を身につける。また、数々の作品の舞台になっている京都、とりわけ京都精華大学のある洛北と文学との関わりを学ぶ。文学の伝統に触れることで自分達の生きている時代についての歴史感覚を身に付け、「文学」の聖地で「文学」を学ぶ喜びを知ってほしい。</p> <p>②谷崎源氏殺人事件(6～9回) 「源氏物語」(1008 頃)は千年もの長きにわたり日本の古典(カノン)として愛される一方、江戸時代には儒教的価値観から否定され、谷崎潤一郎の現代語訳(1939～41)でも物語の重要な箇所が削除されるなど、その歴史には光と影の両面がある。「谷崎源氏」の抹殺を「谷崎源氏殺人事件」と名付け、背景にある芸術表現と社会の葛藤、「表現の自由」と検閲制度といった現代的な問題に着目しながら、難事件の真相を解き明かしていきたい。</p> <p>③文学と視覚メディア(11～14 回) 異なるメディアの接触は相乗効果を産みながら、反対に「芸術表現の本質」(そのメディアやジャンルにしかできない固有の表現)を際立たせもする。では、視覚メディア(挿絵・写真・映画)との接触によって生じた「文学とは何か?」という問いに、日本文学はどのように応答したのだろうか?例えば、谷崎潤一郎が小説を発表するかたわら、映画のシナリオを書き、映画製作の現場にも関わったという体験はどのような文学表現をもたらしたのだろうか?なるべく多くの文学作品や映像作品を実際に鑑賞しながら、それぞれのメディア間の差異(小説における描写と映像表現の違いなど)を考察し、芸術表現の本質に迫りたい。全体を3クールにわけて、日本文学を様々な角度から学ぶ。</p> <p>①文学史のなかの京都(2～5回) 各時代の代表的な日本文学作品にふれながら、文学史の総体的な知識を身につける。また、数々の作品の舞台になっている京都、とりわけ京都精華大学のある洛北と文学との関わりを学ぶ。文学の伝統に触れることで自分達の生きている時代についての歴史感覚を身に付け、「文学」の聖地で「文学」を学ぶ喜びを知ってほしい。</p> <p>②谷崎源氏殺人事件(6～9回) 「源氏物語」(1008 頃)は千年もの長きにわたり日本の古典(カノン)として愛される一方、江戸時代には儒教的価値観から否定され、谷崎潤一郎の現代語訳(1939～41)でも物語の重要な箇所が削除されるなど、その歴史には光と影の両面がある。「谷崎源氏」の抹殺を「谷崎源氏殺人事件」と名付け、背景にある芸術表現と社会の葛藤、「表現の自由」と検閲制度といった現代的な問題に着目しながら、難事件の真相を解き明かしていきたい。</p> <p>③文学と視覚メディア(11～14 回) 異なるメディアの接触は相乗効果を産みながら、反対に「芸術表現の本質」(そのメディアやジャンルにしかできない固有の表現)を際立たせもする。では、視覚メディア(挿絵・写真・映画)との接触によって生じた「文学とは何か?」という問いに、日本文学はどのように応答したのだろうか?例えば、谷崎潤一郎が小説を発表するかたわら、映画のシナリオを書き、映画製作の現場にも関わったという体験はどのような文学表現をもたらしたのだろうか?なるべく多くの文学作品や映像作品を実際に鑑賞しながら、それぞれのメディア間の差異(小説における描写と映像表現の違いなど)を考察し、芸術表現の本質に迫りたい。</p>										

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

<b>授業計画</b> 第1回 ガイダンス 第2回 日本文学小史①(古代～近世篇) 第3回 日本文学小史②(近現代篇) 第4回 文学と京都—洛北を中心に 第5回 古典文学と近代文学の関係性—「源氏物語」を一例に 第6回 「谷崎源氏殺人事件」① 事件の背景(検閲制度の歴史) 第7回 「谷崎源氏殺人事件」② 容疑者(谷崎潤一郎・山田孝雄)と殺人の動機 第8回 「谷崎源氏殺人事件」③ 証人出廷:出版関係者たち 第9回 「谷崎源氏殺人事件」④ 事件の真犯人登場 第10回 講義進度調整日 第11回 「文学と視覚メディア」(挿絵・写真・映画)① 第12回 「文学と視覚メディア」(挿絵・写真・映画)② 第13回 「文学と視覚メディア」(挿絵・写真・映画)③ 第14回 「文学と視覚メディア」(挿絵・写真・映画)④ 第15回 学修成果の確認
<b>授業外学習の指示(予習・復習・課題等)</b> 授業内で小説や映画の一部を提示するので、授業外の時間に情報館などを活用して、作品の全体を鑑賞することが望ましい。
<b>評価方法・評価基準</b>
<b>履修条件・留意点及び受講生に対する要望</b>
<b>購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)</b> 特に指定するテキストはない。講義の中で適宜、映像資料・紙資料として提示する。
<b>参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)</b> 授業内で紹介する。
<b>参考 WEB サイト(サイト名・URL)</b>

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3531201	授業科目名	南島文学論			開講曜日・講時	月曜 3 限		
担当教員名	末次 智	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
前半は、トピックスによる、奄美群島と沖縄諸島の〈南島文化入門〉、後半は、この地域で展開された言語(文学)表現を知る〈南島文学入門〉である。									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄諸島と奄美諸島に焦点を当てつつ南島文学の観点から自他の文化を多角的に捉えるための専門的な知識を習得できる。(DP1-1、DP1-2)</li> <li>・南島文学に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。(DP2-1)</li> <li>・自分で立てた問いを南島文学に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。(DP3-2)</li> </ul>									
授業の概要									
<p>本講義で対象とする「南島」は、九州の南西海上に、北は奄美大島から台湾との国境に向かって弧状に連なる島嶼群である。作家・島尾敏雄の造語によって、ヤポネシア(日本列島)のなかの「琉球弧」とも呼ばれた。ここは、ヤポネシアの中でも、とくに文化的なまとまりをなす地域である。その理由の一つに、歴史的な背景がある。</p> <p>現在、行政的には、沖縄県全域と鹿児島県の一部に属するこの地域は、近代(1879 年)以前は、琉球という一つの王国であった。近世初頭(1609 年)に、薩摩藩の島津家に侵略され、奄美諸島を領有された。だが、それ以南は、政治的な理由で、島津家の統制下にありながら、近代まで琉球王国として存続し、日本語圏のなかでも独自の文化を保ってきた。</p> <p>この地域では、ヤポネシアの中でも、独自の文学表現が展開されてきた。それは、日本語であるため、本州弧と共通性を持ちながらも、一方で独自の発展を遂げてきた。これらは、高校までの国語や古典の教科書ではまったく取り上げられない表現群である。</p> <p>本講義は、まず琉球弧文化の概要が全体的にイメージできるようになり、これをもとにこの地域の言語(文学)表現について知る「南島文学入門編」である。本講義で対象とする「南島」は、九州の南西海上に、北は奄美大島から台湾との国境に向かって弧状に連なる島嶼群である。作家・島尾敏雄の造語によって、ヤポネシア(日本列島)のなかの「琉球弧」とも呼ばれた。ここは、ヤポネシアの中でも、とくに文化的なまとまりをなす地域である。その理由の一つに、歴史的な背景がある。</p> <p>現在、行政的には、沖縄県全域と鹿児島県の一部に属するこの地域は、近代(1879 年)以前は、琉球という一つの王国であった。近世初頭(1609 年)に、薩摩藩の島津家に侵略され、奄美諸島を領有された。だが、それ以南は、政治的な理由で、島津家の統制下にありながら、近代まで琉球王国として存続し、日本語圏のなかでも独自の文化を保ってきた。</p> <p>この地域では、ヤポネシアの中でも、独自の文学表現が展開されてきた。それは、日本語であるため、本州弧と共通性を持ちながらも、一方で独自の発展を遂げてきた。これらは、高校までの国語や古典の教科書ではまったく取り上げられない表現群である。</p> <p>本講義は、まず琉球弧文化の概要が全体的にイメージできるようになり、これをもとにこの地域の言語(文学)表現について知る「南島文学入門編」である。</p>									
授業計画									
<p>次のテーマについて話す「予定」であるが、開講期間中の話題もできるだけ取り上げたいと考えている。よって計画に異動の可能性あることを承知しておいて欲しい。</p> <p>毎時間提出されるコミュニケーションペーパーから印象的なものを選び、これをもとに受講者と討論することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、シラバスの確認、そして、「琉球弧」とは？</li> <li>2、TVドラマの舞台としての南島</li> <li>3、琉球王国の歴史書と、歴史の始源</li> <li>4、琉球弧の歴史と、その王たち</li> <li>5、世界遺産「琉球王朝のグスク及び関連遺産群」</li> <li>6、文化の基層としてのシャーマニズム</li> <li>7、日本語と琉球方言</li> <li>8、閑話休題、沖縄のローカルヒーロー</li> <li>9、琉球王国宮廷歌謡集『おもろさうし』とは？</li> <li>10、『おもろさうし』のうたの数々(1)</li> <li>11、『おもろさうし』のうたの数々(2)</li> <li>12、琉球の短歌、琉歌(りゅうか)</li> <li>13、うたわれる短歌、琉歌</li> <li>14、琉球の能、組踊(くみおどり)について</li> <li>15、まとめ・期末レポートの提出</li> </ol>									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制度の趣旨に則り、この授業では、週4時間の授業外学習が必要です。日ごろ接するメディアの中で、「南島」がどのように取り上げられているかに気を配り、気付いたことを、毎回のコミュニケーションペーパーに報告してもらいます。</li> <li>・また、テキストは、講義の内容に関わらない箇所も含めて、試験までにすべて目を通しておくと。</li> </ul>									
評価方法・評価基準									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

履修条件・留意点及び受講生に対する要望
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)
外間守善著『沖縄の歴史と文化』(中公新書)、1986 年。
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)
<ul style="list-style-type: none"><li>・『沖縄大百科事典』全3巻、沖縄タイムス社(情報館)</li><li>・『沖縄タイムス』(地元の新聞、情報館)</li><li>・池沢夏樹編『沖縄なんでも事典』(新潮社、2003)</li><li>・外間守善篇『鑑賞日本古典文学(第 25 巻)南島文学』(角川書店、1976 年)</li><li>・他にも、講義中で紹介する。</li></ul>
参考 WEB サイト(サイト名・URL)
琉球大学附属図書館 Internet リンク集／沖縄関係リンク集 <a href="http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/retri/link/">http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/retri/link/</a>

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3517201	授業科目名	口承文学			開講曜日・講時	月曜 4 限		
担当教員名	三浦 俊介	授業区分		開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
「民話を調査して研究する」 多様な民話の類話を調査・研究して、その本質を学ぶ。									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・口承文学を通じて自他の文化を多角的に捉えるための専門的な知識を習得できる。</li> <li>・口承文学に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを口承文学に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>口承文化の重要性は、文字やデジタルの情報にあふれている現代社会においても変わらない。東北には、地震や津波の恐怖を語り継ぎ歌い継いできた地域があった。次にいつ来るかわからない津波のために何十年も口頭でメッセージを伝承してきたのである。虚構としか思えない伝説や昔話の中にも様々なメッセージがこめられている可能性がある。本授業では、日本国内で伝承されてきた民話の類話の中から、話の展開に一定の「型」を見出し、話型を利用してさらに多くの類話を収集し、比較研究する。民話の地域性・普遍性だけでなく、語り手一人一人の語りの重要性にも言及したい。口承文化の重要性は、文字やデジタルの情報にあふれている現代社会においても変わらない。東北には、地震や津波の恐怖を語り継ぎ歌い継いできた地域があった。次にいつ来るかわからない津波のために何十年も口頭でメッセージを伝承してきたのである。虚構としか思えない伝説や昔話の中にも様々なメッセージがこめられている可能性がある。本授業では、日本国内で伝承されてきた民話の類話の中から、話の展開に一定の「型」を見出し、話型を利用してさらに多くの類話を収集し、比較研究する。民話の地域性・普遍性だけでなく、語り手一人一人の語りの重要性にも言及したい。</p>									
授業計画									
第1回 ガイダンス、声の文学と文字の文学 第2回 口承文学の分類 第3回 民話の分類 第4回 民話の話型のカタログ 第5回 民話の実地調査の方法 第6回 民話の研究方法の種類 第7回 類話を比較する① 雀孝行 第8回 類話を比較する② 竜宮女房 第9回 類話を比較する③ 猿むこ入り 第10回 類話を比較する④ 浦島太郎 第11回 話型と垂型の分析① 天人女房 第12回 話型と垂型の分析② 蛇むこ入り 第13回 話型と垂型の分析③ 三枚のお札 第14回 筆記試験 第15回 筆記試験の講評・授業のまとめ									
授業外学習の指示 (予習・復習・課題等)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業はシラバス通りに進める。</li> <li>・口承文化に関する出版物にアンテナを働かせて、日本文化を担う一員として知識を身に付けよう。</li> </ul>									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

・指定するテキストはない。毎回プリントを配布する。
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)
・三浦俊介(2019)『神話文文学の展開』思文閣出版 ・石井正己(2003)『図説日本の昔話』河出書房新社 ・柳田國男『日本の伝説』新潮文庫・角川ソフィア文庫 ・柳田國男『日本の昔話』新潮文庫・角川ソフィア文庫
参考 WEB サイト(サイト名・URL)
・「神話と昔話」{ <a href="http://homepage1.nifty.com/miuras-tiger/">http://homepage1.nifty.com/miuras-tiger/</a> } ・「円環伝承」{ <a href="http://suwa3.web.fc2.com/enkan/index.html">http://suwa3.web.fc2.com/enkan/index.html</a> } ・「物語要素事典」{ <a href="http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~kamiyama/">http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~kamiyama/</a> }

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3203201	授業科目名	日本文学研究			開講曜日・講時	木曜 3 限		
担当教員名	堤 邦彦	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>				
サブタイトル									
日本文学の全体像と周辺領域									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文学研究に関する専門的な知識・技能を体系的に理解できる。</li> <li>・日本文学に関する専門的な知識・技能を実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本文学に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
古代～近現代文学の全体的なながれと各時代の特色について講ずる。また各時代の文学をめぐるキーワードや研究方法には、どのようなものがあるかを紹介していく。あわせて文学をとりまく思想、宗教、絵画、芸能、メディアなどについても概観する。古代～近現代文学の全体的なながれと各時代の特色について講ずる。また各時代の文学をめぐるキーワードや研究方法には、どのようなものがあるかを紹介していく。あわせて文学をとりまく思想、宗教、絵画、芸能、メディアなどについても概観する。									
授業計画									
1, ガイダンス～キャラクター像の変遷からみた日本文学のながれ～ <世界の中の日本文学> 2, 叙事詩と抒情詩 3, うた、口承、語り 4, 日本文学の民俗性 <日本文学史のながれ> 5, 神話の時代 6, 和歌文学の成立 7, 説話とは何か 8, 江戸怪談を読む 9, 近現代文学の研究法 <文学の周辺> 10, 書誌学と文学作品 11, 出版文化とメディアの視点 12, 図像学(絵巻、絵解き、絵本) 13, メディアの視点(映像) 14, 芸能と文学 15, 日本文学の研究法をふりかえる									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
毎回の課題を調べ報告書を作成するのに週4時間を要する。									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
なし									
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)									
授業内で指示する。									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3527201	授業科目名	歌謡論			開講曜日・講時	木曜 4 限		
担当教員名	末次 智	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
歌謡(うた)の文化への誘い									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌謡の観点から自他の文化を多角的に捉えるための専門的な知識を習得できる。(DP1-1、DP1-2)</li> <li>・歌謡に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。(DP2-1)</li> <li>・自分で立てた問いを歌謡に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。(DP3-1)</li> </ul>									
授業の概要									
<p>この講義では、私たちにとってあたりまえの存在ともいえる歌謡(うた)について取り上げる。受講生にとってなじみが深いのは、たとえば J-Pop と呼ばれる現代の歌謡(うた)であるだろう。だが、日本列島には、ずっと昔から歌謡(うた)と呼ばれるものは無数に存在したはずである。たとえば、みなさんがよく知る短歌も「うた」と呼ばれ、歌謡と深い関係にある。J-Pop と、昔からある歌謡(うた)、いずれも歌謡(うた)と呼ばれる以上、両者には共通する「なにか」があるはずである。本講義では、できるだけ幅広い事例を通して考えることを基本とするが、これを理解することが最終的な目的なのではなく、これを通して、私たちにとって歌謡(うた)とは何か。なぜ、私たちは歌謡(うた)をうたい、そしてきくのか。このような基本的なテーマを考えてゆくことを目的とする。</p> <p>各回で取り上げられている事例は、歌謡(うた)のさまざまな側面が浮かび上がるように選ばれている。全体を受講した結果として、講義の内容を通して、受講者各自(あなた)が、みずからと歌謡(うた)との関係についてより深く考える「きっかけ」になればよいと思う。いわば、「歌謡(うた)文化」への誘いである。この講義では、私たちにとってあたりまえの存在ともいえる歌謡(うた)について取り上げる。受講生にとってなじみが深いのは、たとえば J-Pop と呼ばれる現代の歌謡(うた)であるだろう。だが、日本列島には、ずっと昔から歌謡(うた)と呼ばれるものは無数に存在したはずである。たとえば、みなさんがよく知る短歌も「うた」と呼ばれ、歌謡と深い関係にある。J-Pop と、昔からある歌謡(うた)、いずれも歌謡(うた)と呼ばれる以上、両者には共通する「なにか」があるはずである。本講義では、できるだけ幅広い事例を通して考えることを基本とするが、これを理解することが最終的な目的なのではなく、これを通して、私たちにとって歌謡(うた)とは何か。なぜ、私たちは歌謡(うた)をうたい、そしてきくのか。このような基本的なテーマを考えてゆくことを目的とする。</p> <p>各回で取り上げられている事例は、歌謡(うた)のさまざまな側面が浮かび上がるように選ばれている。全体を受講した結果として、講義の内容を通して、受講者各自(あなた)が、みずからと歌謡(うた)との関係についてより深く考える「きっかけ」になればよいと思う。いわば、「歌謡(うた)文化」への誘いである。</p>									
授業計画									
<p>下記は、あくまで予定であり、この期間で話題になっている歌謡(うた)を取り上げることがある。 毎時間提出されるコミュニケーションペーパーから印象的なものを選び、これをもとに受講者と討論することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、導入、シラバスの確認</li> <li>2、うたう動物はヒトだけか?</li> <li>3、「うた(歌謡)」という語について</li> <li>4、歌謡(うた)は誰のものか?</li> <li>5、ボーカロイドの歌謡(うた)</li> <li>6、ゲスト講師による講義(予定)</li> <li>7、人はどのようにうたに癒されるのか? Cocoo の場合(1)</li> <li>8、人はどのようにうたに癒されるのか? Cocoo の場合(2)</li> <li>9、声の伝統</li> <li>10、歌謡(うた)を集める</li> <li>11、禁歌の世界</li> <li>12、アイヌ神謡の世界</li> <li>13、琉球列島の哭きうたの世界</li> <li>14、モーツァルト『レクイエム(鎮魂歌)』を聴く</li> <li>15、記述試験</li> </ol>									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
<p>・単位制度の趣旨に則り、この授業では週 4 時間の授業外学習が必要です。受講者が日ごろ聞いている歌謡(うた)について、何気なく聞くのではなく、この授業中では、これを考察の対象として聞く習慣を身につけて欲しい。毎回のコミュニケーションペーパーでは、そのなかで気になった一つの歌謡(うた)について報告してもらう。</p>									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									



京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)
特に無し。授業中にレジュメを配布する。
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)
講義中にその都度、提示する。 できるだけ幅広く関心をもって、いろいろなジャンルの文献や音源から学んで欲しい。
参考 WEB サイト(サイト名・URL)
検索サイト、たとえば google に「歌謡」あるいは「うた」と入力して検索してみよう。いろいろなことが見えてくるはずである。

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3535201	授業科目名	古典文法			開講曜日・講時	木曜 5 限		
担当教員名	久留島 元	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
文法嫌いの古典好き									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文法を通じて自他の文化を多元的に捉えるための専門的な知識・技能を習得できる。</li> <li>・古典文法に関する専門的な知識・技能を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを古典文法に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>古典嫌いを作る大きな原因の一つは、高校までの「文法の授業」ではないだろうか。かくいう担当者も、古典文学を研究対象としながら、文法知識の暗記は大嫌いであった。</p> <p>しかし、日本の古典文学作品を「正しく」読解するためには最低限の文法知識が不可欠である。文法や古典の基礎知識を理解しなければ、作品の主題を読み誤り、誤った、あるいは偏った解釈のまま古典を受容してしまうことがある。</p> <p>本講義では、具体的に古典理解に文法知識が必要なのか、文法を理解することで古典本文の理解がどう変わるかを考える。高校までの暗記中心の文法ではなく、実際に古典本文がどう書かれているか、本文を読むにはどうすればよいか、という実践的な方法としての文法を身に付け、現代において古典を学び、古典文法を学ぶことの意義について、考えを深めたい。古典嫌いを作る大きな原因の一つは、高校までの「文法の授業」ではないだろうか。かくいう担当者も、古典文学を研究対象としながら、文法知識の暗記は大嫌いであった。</p> <p>しかし、日本の古典文学作品を「正しく」読解するためには最低限の文法知識が不可欠である。文法や古典の基礎知識を理解しなければ、作品の主題を読み誤り、誤った、あるいは偏った解釈のまま古典を受容してしまうことがある。</p> <p>本講義では、具体的に古典理解に文法知識が必要なのか、文法を理解することで古典本文の理解がどう変わるかを考える。高校までの暗記中心の文法ではなく、実際に古典本文がどう書かれているか、本文を読むにはどうすればよいか、という実践的な方法としての文法を身に付け、現代において古典を学び、古典文法を学ぶことの意義について、考えを深めたい。</p>									
授業計画									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 古典学習に文法は必要か</li> <li>2. つくられた「古典文法」</li> <li>3. 古典嫌いのための古典講座</li> <li>4. 古典嫌いのための古典講座</li> <li>5. 古典嫌いのための古典講座</li> <li>6. 古典を読むための古典文法</li> <li>7. 古典を読むための古典文法</li> <li>8. 古典を読むための古典文法</li> <li>9. 古典を読むための古典文法</li> <li>10. 古典を読むための古典文法</li> <li>11. 古典を読むための古典文法</li> <li>12. 古典を読むための古典文法</li> <li>13. 古典を読むための古典文法</li> <li>14. いま、なぜ古典を学ぶのか</li> <li>15. まとめ・総括</li> </ol>									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
古典文法のルールを理解、応用できるため予習を指示する									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
特になし									
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)									
勝又基編『古典は本当に必要なのか、否定論者と議論して本気で考えてみた。』(文学通信)									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3505201	授業科目名	説話・伝承史			開講曜日・講時	金曜 4 限			
担当教員名	堤 邦彦		授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	前期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>				
サブタイトル										
日本怪談史と宗教、芸能										
授業の目的・到達目標										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話・伝承を通じて自他の文化を多角的に捉えるための専門的な知識を習得できる。</li> <li>・説話・伝承史に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを説話・伝承に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>										
授業の概要										
<p>ある特定の説話が時をこえて数世代にわたり語り伝えられることは、珍しくない。たとえば古代社会に発生した神話や伝説が今日の昔話、童話の世界に引き継がれているのはその一例といえるだろう。</p> <p>ただし、だからといって、それらが時代の移り変わりとまったく無縁に存在していないことも事実である。古くから語り継がれた話は、つねに各時代のものの考え方や思想、価値観の影響を受け、さらには文芸の流行色などの大衆文化に左右されてきた。</p> <p>以上の観点にもとづき、本年度は近世以降の怪異小説、芝居、絵画などに描かれた怪異談の流れをとりあげ、日本怪談が成立する文化基層となった仏教の役割について考えてみたい。日本人の靈魂観、冥府観や因果応報を怖れる観念は、いかにして生成したのか。これらの点を明らかにしながら、江戸から明治にかけて流行した怪談文芸の宗教・思想的な原風景を明らかにしていく。ある特定の説話が時をこえて数世代にわたり語り伝えられることは、珍しくない。たとえば古代社会に発生した神話や伝説が今日の昔話、童話の世界に引き継がれているのはその一例といえるだろう。</p> <p>ただし、だからといって、それらが時代の移り変わりとまったく無縁に存在していないことも事実である。古くから語り継がれた話は、つねに各時代のものの考え方や思想、価値観の影響を受け、さらには文芸の流行色などの大衆文化に左右されてきた。</p> <p>以上の観点にもとづき、本年度は近世以降の怪異小説、芝居、絵画などに描かれた怪異談の流れをとりあげ、日本怪談が成立する文化基層となった仏教の役割について考えてみたい。日本人の靈魂観、冥府観や因果応報を怖れる観念は、いかにして生成したのか。これらの点を明らかにしながら、江戸から明治にかけて流行した怪談文芸の宗教・思想的な原風景を明らかにしていく。</p>										
授業計画										
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス/説話・伝承史の視点とは何か。</li> <li>2. 百鬼夜行の図像～鳥山石燕まで</li> <li>3. 演じられた怪異～歌舞伎の変化もの</li> <li>4. アジアの妖怪・韓国編 ※小レポート①の提出と評価</li> <li>5. アジアの妖怪・タイ編</li> <li>6. 幽霊女房と冥婚譚</li> <li>7. 江戸怪談と冥婚</li> <li>8. 子を育てる幽霊 ※小レポート②の提出と評価</li> <li>9. 江戸の四大怪談その1～皿屋敷～</li> <li>10. 同 その2～累ヶ淵～</li> <li>11. 同 その3～三遊亭円朝と映画『怪談』 ※小レポート③の提出と評価</li> <li>12. 同 その4～牡丹灯籠の日本化</li> <li>13. 同 その5～四谷怪談の実説と虚構</li> <li>14. 同 その6～現代民話のなかのお岩さま</li> <li>15. 授業内レポート</li> </ol>										
授業外学習の指示 (予習・復習・課題等)										
小レポート(3 回分)の作成などに週 4 時間の学習時間を要する。										
評価方法・評価基準										
履修条件・留意点及び受講生に対する要望										

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)
なし
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)
・堤邦彦『現代語で読む「江戸怪談」傑作選』(祥伝社、2008) ・横山泰子『四谷怪談は面白い』(平凡社、1997)
参考 WEB サイト(サイト名・URL)

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3207201	授業科目名	日本上代文学講読			開講曜日・講時	月曜 3 限		
担当教員名	是澤 範三	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
『日本書紀』の古写本と古訓									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本上代文学に関する専門的な知識・技能を体系的に理解できる。</li> <li>・日本上代文学に関する専門的な知識・技能を実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本上代文学に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>今年、『日本書紀』撰進 1300 年を迎える。現在、日本書紀の多くの古写本がカラー印刷で出版され、研究の便宜が図られている。カラーで印刷する理由は、訓読のための訓点(ヲコト点、返り点、訓、声点など)を朱色で書き込んでいることから、白黒では判別のつきにくかった箇所が鮮明に認識できるようにするためである。その画像資料をもとに、日本書紀の訓読がどのようになされたかを、とりわけて日本書紀の訓読に特有の古訓に注目し、諸写本を見ていきながら、分析していく。今年、『日本書紀』撰進 1300 年を迎える。現在、日本書紀の多くの古写本がカラー印刷で出版され、研究の便宜が図られている。カラーで印刷する理由は、訓読のための訓点(ヲコト点、返り点、訓、声点など)を朱色で書き込んでいることから、白黒では判別のつきにくかった箇所が鮮明に認識できるようにするためである。その画像資料をもとに、日本書紀の訓読がどのようになされたかを、とりわけて日本書紀の訓読に特有の古訓に注目し、諸写本を見ていきながら、分析していく。</p>									
授業計画									
<p>第1回 日本上代史および文献概説  第2回 『日本書紀』概説  第3回 平安期書写の『日本書紀』断簡(無点本)  第4回 『日本書紀』の受容史(訓読史)概説 日本紀講書と日本紀私記  第5回 釈日本紀とト部家の日本書紀研究  第6回 神代巻 弘安本／兼方本:天理図書館蔵(国宝)  第7回 神代巻 乾元本／兼夏本:天理図書館蔵(国宝)  第8回 神代巻 弘安本と乾元本との比較  第9回 神代巻 一峯本、圓威本、御巫本日本書紀私記など  第10回 人皇巻 岩崎本:京都国立博物館蔵(国宝)  第11回 人皇巻 前田本:前田育徳会尊経閣文庫蔵(国宝)  第12回 人皇巻 図書寮本:宮内庁書陵部蔵、北野本:北野天満宮蔵  第13回 人皇巻 熱田本:熱田神宮蔵  第14回 人皇巻 兼右本:天理大学蔵  第15回 まとめと振り返り</p> <p>以上は予定であり、諸種の事情で変更することもありうる。</p>									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
授業で配布したワークシートを完成させて、次回の授業で提出する事後学習を必要とする。									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
なし。									
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)									
遠藤慶太ほか編『日本書紀の誕生—編纂と受容—』八木書店、2018 年 ほか、授業時に紹介する。									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									
八木書店 HP「日本書紀の写本—覧と複製出版・Web 公開をまとめてみた」 <a href="https://company.books-yagi.co.jp/archives/4212">https://company.books-yagi.co.jp/archives/4212</a>									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3213201	授業科目名	日本近世文学講読			開講曜日・講時	火曜 4 限		
担当教員名	堤 邦彦	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
西鶴小説を読むー『西鶴諸国はなし』の不思議な世界									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本近世文学に関する専門的な知識・技能を体系的に理解できる。</li> <li>・日本近世文学に関する専門的な知識・技能を実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本近世文学に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>近世小説を代表する作者の一人である井原西鶴の作品を読む。本年度は1685年(貞享2年)刊の奇談小説である『西鶴諸国はなし』を取り上げる。作品の精読を通して、この時代の小説が、素材となった日本各地の伝説や噂話をどのように虚構化していったのかを読み解いてみたい。本書は35章の短編集であり、各々の章に当時の読者になじみのある事件、伝承の類を取り込む手法によって諸国に散らばる不思議な世界を読者に提供するスタイルの作品である。ここでは三分の一ほどの章について精読しながら西鶴小説の作風を考えて行く。近世小説を代表する作者の一人である井原西鶴の作品を読む。本年度は1685年(貞享2年)刊の奇談小説である『西鶴諸国はなし』を取り上げる。作品の精読を通して、この時代の小説が、素材となった日本各地の伝説や噂話をどのように虚構化していったのかを読み解いてみたい。本書は35章の短編集であり、各々の章に当時の読者になじみのある事件、伝承の類を取り込む手法によって諸国に散らばる不思議な世界を読者に提供するスタイルの作品である。ここでは三分の一ほどの章について精読しながら西鶴小説の作風を考えて行く。</p>									
授業計画									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス／西鶴の人と作品</li> <li>2. 諸国はなしの序文の意味</li> <li>3. 巻1の2 天井裏の怪異</li> <li>4. 巻1の4 妖しい傘の噂</li> <li>5. 巻2の1 空飛ぶ駕籠</li> <li>6. 巻2の3 地下水脈の存在</li> <li>7. 巻2の4 仙人の秘術</li> <li>8. 巻2の6 幼児をさらう都市型犯罪</li> <li>9. 巻3の4 紫女あらわる</li> <li>10. 巻3の5 異境訪問と宝船</li> <li>11. 巻4の3 天狗の戒め</li> <li>12. 巻4の5 藤の精の嘆き</li> <li>13. 巻4の7 鯉魚との交情</li> <li>14. 巻5の6 油火の伝説</li> <li>15. 西鶴小説の作風について討議をふまえて小レポートを作成</li> </ol>									
<p>毎回レポーターを決めて輪読形式の授業を行なう。また、報告レジュメの内容について受講者のあいだで質疑を行なう。報告者はもとより受講者全体の参加度が評価対象となる。</p>									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
報告レジュメの作成と課題を仕上げるため、毎週4時間以上の学習を必要とする。									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
西鶴研究会編『西鶴諸国はなし』(2009, 三弥井書店, 1800 円)									
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)									
・『西鶴が語る江戸のミステリー』ペリかん社、2004									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3215201	授業科目名	日本近現代文学講読			開講曜日・講時	木曜 3 限		
担当教員名	西野 厚志	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
文学理論とその実践～短編小説を読む～									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本近現代文学に関する専門的な知識・技能を体系的に理解できる。</li> <li>・日本近現代文学に関する専門的な知識・技能を実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本近現代文学に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
この講義では、夏目漱石や芥川龍之介、谷崎潤一郎など、日本近代文学の代表的な短編小説を取り上げ、これまで「文学概論」(文学専攻前期必修科目)で学んだ「代理-表象(re-presentation)」や「異化」といった基本的な概念、物語の類型などの観点を具体的な作品分析に応用する。小説の精緻な読解を通して批評理論を実践することで、「文学の本質」(言語にしかできない固有の表現)に迫りたい。この講義では、夏目漱石や芥川龍之介、谷崎潤一郎など、日本近代文学の代表的な短編小説を取り上げ、これまで「文学概論」(文学専攻前期必修科目)で学んだ「代理-表象(re-presentation)」や「異化」といった基本的な概念、物語の類型などの観点を具体的な作品分析に応用する。小説の精緻な読解を通して批評理論を実践することで、「文学の本質」(言語にしかできない固有の表現)に迫りたい。									
授業計画									
第1回 ガイダンス(教員の自己紹介、授業内容、評価基準などについての説明)									
第2回 文学理論理論(2)～物語の類型論～									
第3回 実践例① 芥川龍之介「トロコ」									
第4回 実践例② 泉鏡花「龍潭譚」(1)									
第5回 実践例② 泉鏡花「龍潭譚」(2)									
第6回 実践例② 泉鏡花「龍潭譚」(3)									
第7回 実践例③ 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(映画鑑賞)(1)									
第8回 実践例③ 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(映画鑑賞)(2)									
第9回 実践例④ 谷崎潤一郎「吉野葛」(1)									
第10回 実践例④ 谷崎潤一郎「吉野葛」(2)									
第11回 実践例④ 谷崎潤一郎「吉野葛」(3)									
第12回 実践例④ 谷崎潤一郎「吉野葛」(4)									
第13回 実践例⑤ 萩原朔太郎「猫町」									
第14回 文学理論(1)～文学の異化効果～ 実践例③ 夏目漱石「夢十夜」(第一夜)									
第15回 学修成果の確認									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
授業内で取り上げる小説の作者について事前に調べてくるのが望ましい。									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
特に指定するテキストはない。講義の中で適宜、紙資料として配布する。									
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)									
『日本近代短編小説選』明治篇1・2、大正篇、昭和篇1・2・3(岩波文庫)									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3209201	授業科目名	日本中古文文学講読			開講曜日・講時	木曜 4 限			
担当教員名	恵阪 友紀子		授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>				
サブタイトル										
知っているようで知らない『竹取物語』—かぐや姫はおしとやかな女性か—										
授業の目的・到達目標										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本中古文文学に関する専門的な知識・技能を体系的に理解できる。</li> <li>・日本中古文文学に関する専門的な知識・技能を実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本中古文文学に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>										
授業の概要										
<p>「かぐや姫」の物語を知らない人はいないだろう。輝く竹の中から生まれたかぐや姫。美しく成長し、やがて月に帰ってしまう。誰でも知っている『竹取物語』だが、それを古典作品として詳しく読んだことのある人は少ない。</p> <p>本講義では、『源氏物語』のなかに「物語の出で来はじめの祖」と書かれ、日本現存最古の物語である『竹取物語』について、物語成立の時代背景、取り入れられた説話・中国の古典文学作品などとの関わりを検討しながら、古典作品読解の知識を身につけていく。「かぐや姫」の物語を知らない人はいないだろう。輝く竹の中から生まれたかぐや姫。美しく成長し、やがて月に帰ってしまう。誰でも知っている『竹取物語』だが、それを古典作品として詳しく読んだことのある人は少ない。</p> <p>本講義では、『源氏物語』のなかに「物語の出で来はじめの祖」と書かれ、日本現存最古の物語である『竹取物語』について、物語成立の時代背景、取り入れられた説話・中国の古典文学作品などとの関わりを検討しながら、古典作品読解の知識を身につけていく。</p>										
授業計画										
『竹取物語』の内容だけでなく、成立年代や作者を特定する要素にも気をつけながら一つの作品を読み通し、現代の小説との違いを考えていきたい。疑問や感想はコメントページを通じて振り返り、情報を共有する。										
第 1 回 ガイダンス: 日本古典文学の流れ 第 2 回 『竹取物語』の成立と概要 第 3 回 『竹取物語』の作者と本文 第 4 回 『竹取物語』を読む 1: 竹取の翁とかぐや姫の紹介 第 5 回 『竹取物語』を読む 2: かぐや姫の成長 第 6 回 『竹取物語』を読む 3: 五人の求婚者と難題譚 第 7 回 『竹取物語』を読む 4: 石作の親王と仏の石鉢 第 8 回 『竹取物語』を読む 5: 車持の親王と蓬菜の玉の枝 第 9 回 『竹取物語』を読む 6: 阿部御主人と火鼠の皮衣 第 10 回 『竹取物語』を読む 7: 大伴御行と龍の首の玉 第 11 回 『竹取物語』を読む 8: 石上麿足と燕の子安貝 第 12 回 『竹取物語』を読む 9: 帝の求婚 第 13 回 『竹取物語』を読む 10: 月を見てなげくかぐや姫 第 14 回 『竹取物語』を読む 11: かぐや姫の昇天 第 15 回 『竹取物語』の類話										
授業外学習の指示 (予習・復習・課題等)										
単位制度の趣旨に則り、この授業では週 4 時間の授業外学習が必要になる。この授業における授業外学習の内容と時間数は以下のとおり。 予習: 時間の関係上、通読することは困難であるため、物語の本筋に関わる部分を中心に通読する。講義前には、その回で読む部分を精読する (週 2 時間) 復習: 授業で取り扱った内容を自分で読み返し、飛ばした箇所の内容を読み返す (週 2 時間)										
評価方法・評価基準										
履修条件・留意点及び受講生に対する要望										
購入必須テキスト (授業内で配付するプリント類を除く)										
片桐洋一 『異本対照 竹取物語』 和泉書院										
参考文献・作品等 (購入不要: より深く授業内容を理解するための有用資料)										
片桐洋一【ほか】新編日本古典文学全集『竹取物語・伊勢物語・大和物語・平中物語』 小学館 三谷栄一 校注古典叢書『竹取物語』 明治書院 ※ その他、授業中に紹介する										
参考 WEB サイト (サイト名・URL)										
授業内で紹介する										



京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3211201	授業科目名	日本中世文学講読			開講曜日・講時	木曜 5 限		
担当教員名	久留島 元	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>				
サブタイトル									
魔と神仏の日本中世									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本中世文学研究の専門的な知識・技能を体系的に理解できる。</li> <li>・日本中世文学に関する専門的な知識・技能を実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本中世文学に関する専門的な知識・技能にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>古典に接することは、単なる娯楽や教養に留まらない、先人の思考や文化から実践的な知を見いだす試みである。</p> <p>日本人は無宗教といわれるが、古典文学を理解するうえで神仏への信仰を無視することはできない。中世の寺社が発信する神仏の理解や教説は、現在の日本文化にまでつながる大きな流れを生み出した。そして、中世には神仏に対抗する魔(悪魔)もまた、大きな存在感をもって語られた。本講義では各作品が生まれた当時の時代背景を意識し、それぞれの作品において神仏や魔がどのように扱われ、人びとの期待を反映させているかを考察していく。古典に接することは、単なる娯楽や教養に留まらない、先人の思考や文化から実践的な知を見いだす試みである。</p> <p>日本人は無宗教といわれるが、古典文学を理解するうえで神仏への信仰を無視することはできない。中世の寺社が発信する神仏の理解や教説は、現在の日本文化にまでつながる大きな流れを生み出した。そして、中世には神仏に対抗する魔(悪魔)もまた、大きな存在感をもって語られた。本講義では各作品が生まれた当時の時代背景を意識し、それぞれの作品において神仏や魔がどのように扱われ、人びとの期待を反映させているかを考察していく。</p>									
授業計画									
第1回 神と仏の中世 恵比須大黒 第2回 地獄と極楽 冷徹な鬼灯の現場 第3回 浦島太郎は神さまか 第4回 苦勞すれば神になる 本地物 第5回 義経と鞍馬寺 第6回 天狗信仰 第7回 「能」の幽霊 草木成仏 第8回 慰霊と怨霊 平家物語 第9回 魔道におちた人びと 第10回 鴨長明、無常を語る 第11回 天神信仰 第12回 伊勢信仰 第13回 聖徳太子信仰 第14回 聖地巡礼 第15回 釈迦伝									
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)									
受講にあたり、講義で紹介した「中世文学」について、適宜、自分なりにアプローチすること。(アプローチへの手助けは惜しみません)									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
特になし。									
参考文献・作品等(購入不要:より深く授業内容を理解するための有用資料)									
京都仏教説話研究会『説話の中の僧たち』(新典社) 田中貴子『外法と愛法の中世』(平凡社ライブラリー) 伊藤慎吾編『妖怪・憑依・擬人化の文化史』(笠間書院) 堤邦彦・徳田和夫編『遊楽と信仰の文化学』(森話社)									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									
特になし。									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3205201	授業科目名	日本語学概論			開講曜日・講時	金曜 3 限		
担当教員名	是澤 範三	授業区分	週間授業	開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク		<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>			
サブタイトル									
古典から学ぶ日本語の歴史と文化									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学の観点から自他の文化を多角的に捉えるための基本的な知識を習得できる。</li> <li>・日本語に関する基本的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本語に関する基本的な知識にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>上代から近世の文献を対象として、日本語の歴史を共時的観点から、それぞれの時代の主要な作品をとりあげ、資料を扱う際の前提となる書写の問題等、諸本の書誌的事項の確認と本文の解釈について講義した上で、その言語的特徴を文字・表記・音韻・文法・語彙などの観点から分析します。授業形態としては、ワークシートを利用したワークショップ形式で授業を進めるので、協働による能動的な履修態度を求めます。上代から近世の文献を対象として、日本語の歴史を共時的観点から、それぞれの時代の主要な作品をとりあげ、資料を扱う際の前提となる書写の問題等、諸本の書誌的事項の確認と本文の解釈について講義した上で、その言語的特徴を文字・表記・音韻・文法・語彙などの観点から分析します。授業形態としては、ワークシートを利用したワークショップ形式で授業を進めるので、協働による能動的な履修態度を求めます。</p>									
授業計画									
<p>上代編：漢字しかない世界  第1回目 導入：歴史を区分してみよう—日本語史の素描と時代区分  第2回目 金石文を模写して訓んでみよう—漢字の伝来と金石文—法隆寺金堂薬師如来像裏背銘  第3回目 万葉仮名をよんでみよう—『万葉集』  第4回目 変体漢文をよんでみよう—『古事記』  中古編：ひらがなの世界  第5回目 変体仮名を翻字してみよう—『伊勢物語』  第6回目 写本を翻字して比較してみよう—紀貫之『土佐日記』：定家本と為家本  第7回目 英語訳と注釈でよんでみよう—紫式部『源氏物語』、北村季吟『源氏物語湖月抄』  第8回目 「いろはうた」の謎を考えてみよう—いろはと五十音図  中世編：カタカナ・漢字・ひらがなの世界  第9回目 訓点資料を翻字してみよう—『日本書紀』乾元本  第10回目 漢字カタカナ交じり文をよんでみよう—鴨長明『方丈記』  第11回目 「しお」の文字の部首は土偏ではない—吉田兼好『徒然草』  近世編：話し言葉の世界  第12回目 ポルトガル式のローマ字をよんでみよう—天草版『伊曾保物語』  第13回目 江戸っ子と関西人の会話をよんでみよう—式亭三馬『浮世風呂』  第14回目 筆記試験：授業での体験を通して得た言葉の変化と変遷を考える  第15回目 授業のまとめと筆記試験の振り返り</p>									
授業外学習の指示 (予習・復習・課題等)									
取り上げる予定の文献等の事前学習と、授業で配布したワークシートを完成させて、次回の授業で提出する事後学習を必要とする。									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
特になし。									
参考文献・作品等(購入不要：より深く授業内容を理解するための有用資料)									
沖森卓也『日本語全史』ちくま新書、2017 年刊、1,200 円ほか、随時、授業で紹介する。									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									
NHK for School 10min. ボックス 古文・漢文 [国語 中・高]: <a href="https://www.nhk.or.jp/kokugo/10min_kobun/">https://www.nhk.or.jp/kokugo/10min_kobun/</a> おはなしのくにクラシック: <a href="https://www.nhk.or.jp/kokugo/classic/">https://www.nhk.or.jp/kokugo/classic/</a>									

京都精華大学 2020 年度シラバス (2020/2/3 時点のデータです。ここに掲載されていないデータは 3/2 以降にウェブでご確認ください)

科目ナンバリング コード	HCH3501201	授業科目名	日本文学史			開講曜日・講時	金曜 4 限		
担当教員名	久留島 元	授業区分		開講年度	2020 年度	開講学期	後期	授業形態 種別	講義
科目ナンバリングの説明 ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/numbering</a>			ディプロマポリシー (DP) の説明ページへのリンク	<a href="http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix">http://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/class/matrix</a>				
サブタイトル									
ものがたり日本文学史									
授業の目的・到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文学の歴史を通じて自他の文化を多角的に捉えるための専門的な知識を習得できる。</li> <li>・日本文学史に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。</li> <li>・自分で立てた問いを日本文学に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。</li> </ul>									
授業の概要									
<p>文学史は、読んだこともない作品の暗記や、中途半端な作品紹介だけでは面白くない。</p> <p>説話や物語には歴史を超えて引き継がれる系譜があり、和歌や俳諧とも共通の基盤がある。ジャンルを超えた有機的な関連を見逃すと、本当の意味で文学史を理解したとはいえない。</p> <p>本講義では個々の独立した作品を支える日本文化の基盤を考察する。特に作品それぞれの時代背景やその担い手に注目することで、時代やジャンルを超えた共通性や、歴史的な変化について考えていく。そして、古典文学だけでなく、現代のポップカルチャーや世界の文化についても分析する視点を養う。なお、講義内の質問はコメントペーパーを通じて集約し、次の講義で適宜回答する。文学史は、読んだこともない作品の暗記や、中途半端な作品紹介だけでは面白くない。</p> <p>説話や物語には歴史を超えて引き継がれる系譜があり、和歌や俳諧とも共通の基盤がある。ジャンルを超えた有機的な関連を見逃すと、本当の意味で文学史を理解したとはいえない。</p> <p>本講義では個々の独立した作品を支える日本文化の基盤を考察する。特に作品それぞれの時代背景やその担い手に注目することで、時代やジャンルを超えた共通性や、歴史的な変化について考えていく。そして、古典文学だけでなく、現代のポップカルチャーや世界の文化についても分析する視点を養う。なお、講義内の質問はコメントペーパーを通じて集約し、次の講義で適宜回答する。</p>									
授業計画									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本・文学・史とは</li> <li>2. 世界の神話と日本の神話</li> <li>3. かぐや姫は愛に目覚めたか</li> <li>4. 好色者の系譜－平安の恋愛術－</li> <li>5. 光源氏の一生－源氏物語の誕生－</li> <li>6. 話型と裏切り－平安後期物語の展開－／「堤中納言物語」「とりかへばや」</li> <li>7. 歌を訪ねて－和歌説話と歌枕－／実方、西行</li> <li>8. 神仏を疑う－兼好法師は何者か－</li> <li>9. 戦を語る－平家物語の語り手－</li> <li>10. 能の成立－小野小町伝説－</li> <li>11. 本当は怖い一寸法師</li> <li>12. 芭蕉の衝撃</li> <li>13. 落語の笑い</li> <li>14. 桃太郎の近代</li> <li>15. 遠い国からきた鬼六</li> </ol>									
授業外学習の指示 (予習・復習・課題等)									
受講にあたり、講義で紹介した「日本文学」について、適宜、自分なりにアプローチすること。アプローチへの手助けは惜しみません。									
評価方法・評価基準									
履修条件・留意点及び受講生に対する要望									
購入必須テキスト(授業内で配付するプリント類を除く)									
講師が準備したレジュメをもとに講義をすすめる。テキストは指定しない。									
参考文献・作品等(購入不要・より深く授業内容を理解するための有用資料)									
<p>参考文献として以下のものをあげる。</p> <p>小峯和明編『日本文学史 古代中世篇』(ミネルヴァ書房)</p> <p>植朗子・石黒大岳ほか『はじまりが見える世界の神話』(創元社)</p> <p>田中貴子『朝日選書 817 検定絶対不合格教科書古文』(朝日新聞社)</p>									
参考 WEB サイト(サイト名・URL)									